

桃園屋外プールが閉鎖 ～いよいよ新プール建設へ工事本格化～

長年親まれてきた桃園屋外プールが8月31日をもって閉鎖しました。私自身も中学生のときに友人と連れ立って泳ぎにいった思い出深い場所でもあります。屋外プール営業最終日は無料開放され、多くの人でにぎわいました。

このプールは昭和37年から50年以上にわたり、市民の皆さまに利用されてきました。ご存知のように、桃園市民プールは2020年の東京オリンピックのキャンプ地誘致などを見据え、建替えが決まっています。

前回の東京オリンピックに出場した日本代表の選手たちも日々練習に励んだプールであり、オリンピックゆかりのプールともいえます。

今後屋内プールは新プール完成まで営業を続ける予定ですが、2020年3月完成予定の「新桃園市民プール」にも2020年東京オリンピックゆかりの聖地として是非、外国選手団のキャンプ地として利用させていただきたいと切に願っています。もちろん老朽化で長らく我慢していただいた地元の方々にも、真新しい最新設備の整った新プールを思う存分楽しんでいただきたいと思います。



多くの子供たちが楽しむ様子



新桃園プール内観イメージ



西日本新聞社提供

安心院インターに復活停車!! 地域活性化に貢献「ゆのくに号」

地域交通の確保が課題となる中、以前より要望のあった大分県の安心院ICに8月1日、「高速安心院」バス停を設置する事が出来ました。実現まで約2年の歳月を要しました。

バス停の設置にあたっては、高速道路の逆走対策などの課題がありましたが、宇佐市やNEXCO西日本、西鉄バスなどの協力により復活の運びとなりました。運行初日に私も同会派の浜口議員と共に乗車しました。多くの方々から歓迎を受け、共に喜びを分かち合いました。

「高速安心院」には1日計8便(4往復)が発着。北九州からは大人片道1,500円となっています。人口減少や少子高齢化が進む地域にとって交通インフラの充実が課題となる中、このような取り組みは大変貴重なものとなります。今後も路線維持に向けて他自治体とも連携を深めてまいります。

市政報告会を開催!!

7月28日土曜、午前・午後にそれぞれ高槻市民センターと大蔵市民センターにおいて市政報告会を開催させていただき、多くの方にご参加いただきました。

報告会では約30分間、議会での課題や質問に加え、どのようなテーマが議論されているかなど、紙面ではお伝えしにくいような事も含め報告させていただきました。その後、参加していただいた方々からの質問にお答えする形で進めさせていただきました。多くの方から豪雨災害に関することや、地元のスペースワールド跡地問題、子育てに関する悩みなどもお伺いすることが出来ました。災害に関しては3ページにもご報告させていただいていますが、避難所の体制不備やがけ崩れの相談まで幅広いご要望もいただきました。市政の課題は多くありますが、一つひとつ丁寧に解決に結びつけていきたいと考え、実践行動を心がけています。常に地域の課題解決に向け全力で取り組んで参ります。今後も市政報告会を不定期に開催予定ですので、次回は是非ご参加下さい。



白石かずひろの市政相談コーナー

お気軽にどんなことでもご相談ください。
皆様のお困り事ございましたら事務所までご連絡ください。



白石かずひろ事務所
〒805-0061 北九州八幡東区西本町二丁目9-5
TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138
e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp

●この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。



北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.37 秋号

【発行日】平成30年10月 【発行人・編集人】白石一裕

2018

八幡市民会館を埋蔵文化財センター移転先として活用 新市立八幡病院がまもなく完成! いよいよ12月25日開業です

暑かった夏もすっかり秋の気配につつまれる季節となりました。

皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今年の夏は西日本を中心に全国的に広い範囲で豪雨にみまわれ、門司区では不幸にも2名の方がお亡くなりになるなど、本市においても大変な被害をもたらしました。八幡東区でも多数の崖崩れや床上浸水なども発生し、市民センターなどに避難された方も多数おられました。議会でも9月議会で多数の議員が土砂災害警戒区域における避難のあり方について質問を致しました。私も実際に避難された方々の状況から感じた課題を踏まえ、この事について質問や要望を行いました。

一点目は、自分の地域の避難に関する情報を一枚ものに整理し、マグネット式で常に目に付く冷蔵庫などに貼れるようなものにして配布してはどうか、ということについて質問しました。

二点目は、警戒区域にお住まいの方々に避難指示が出た場合も実際に避難される方は対象者の1.7%に過ぎない事がわかりました。避難情報が出て、高齢者や障害者など1人では避難が難しい方もおり、地域の中の連携が必要です。安全な避難の重要性を示す上で、自助・共助の仕組みをしっかりと周知すべきではないか、ということについて質問しました。

三点目は、避難所となる市民センターの広いスペースは床張りや長時間滞在出来ないことや、妊婦や子供はプライバシーにも配慮が必要などの課題が判明しました。あらゆる人が避難しやすい環境づ



新北九州市立八幡病院

市税収入率が七年連続上昇で市発足以来最高。



H30年9月議会質問

くりのため取り組まれていることについて、また避難場所としてホテル等の宿泊施設を格安で利用できるよう協定を結ぶなどしてはどうか、ということについて質問しました。

この時期の豪雨は昨年に続いて発生しており、来年以降も続く可能性もあるものと考え、備えを更に増していかなければいけません。

又その後も連日の猛暑にも見舞われ、改めて異常気象が続いていることを実感しました。大阪や北海道の地震や台風による大被害など大きな自然災害が日本を襲っている現状を他人事して捉える事無く、北九州市もさらに備えていく必要を強く感じる夏でした。

9月6日より10月5日(30日間)まで平成29年度の決算議会が行われました。北橋市政3期目の最後の決算議会となりました。平成29年度決算は市税収入が3年ぶりに増加となり、市税収入率は98.2%と7年連続上昇し、市発足以来最高の収入率となりました。又、歳出は福祉医療関係費が引き続き増加しました。

補正予算は、平成30年7月豪雨による災害関連として30億6,389万円、公共事業関連で72億4,900万円、SDGs地域エネルギー次世代モデル事業や世界遺産公開関連事業など政策的経費として1億9,958万円など、一般会計で105億1,247万円、特別会計や企業会計も含んだ総額で130億4,329万円を可決しました。

質問 Question

受動喫煙防止対策について

喫煙は全ての癌、慢性閉塞性肺疾患、心筋梗塞、脳血管疾患、糖尿病、歯周病等、様々な病気との因果関係が示唆されています。また副流煙には喫煙者が吸い込む煙の何倍もの有害物質が含まれています。(中略)今回、国において東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年4月を全面施行とする改正健康増進法が成立しました。

このことを受け本市としてどのような対策を検討しているのか、またそのスケジュールはどうなるのかお聞かせ下さい。また健康づくり推進プランにある市民の喫煙対策にはどのように取り組むのかお聞かせ下さい。(抜粋)



質問 Question

旧八幡市民会館の今後の方向性について

旧八幡市民会館について8月30日、市長の定例会見において、埋蔵文化財センターとして活用する方針を発表しました。これまで長い間、議論されてきた施設の活用についての経緯も含めて、今回の決定や今後の施設活用の方向性についてお聞かせ下さい。



存続が決定した旧八幡市民会館

市長 答弁 Answer

全ての市民が、健やかで心豊かに生活できる社会を実現していくため、健康寿命を延伸することが必要であると考えています。そのうえで肺がんをはじめとする多くのがんや、様々な病気の危険因子であるたばこに関する対策は重要な取り組みの一つと認識しています。今回の健康増進法の改正は公布日である本年7月25日から1年6ヶ月以内に、学校、病院、児童福祉施設、行政機関等に受動喫煙対策が義務付けられます。2020年4月からは飲食店をはじめとする対象施設の全てについても義務付けられます。施設に求められる喫煙室の構造等を定める技術的基準や行政窓口への届出等の詳細な事務手続きは、政令及び省令で示されることとなり、政省令の公布後、事業者に対する説明会や相談対応等が実施できるように準備を進めて参ります。

本市では、平成28年度から「受動喫煙防止対策意見交換会」を立ち上げています。昨年は、国の動向を踏まえた受動喫煙防止の啓発活動について議論を行い、健康増進法の改正を視野に入れた啓発を行いました。また、医療機関や薬局、区役所において、市独自に作成した禁煙外来や卒煙サポート薬局を紹介する「禁煙支援施設ガイドブック」を活用して、禁煙支援を実施しました。更に、「第二次北九州市健康づくり推進プラン」の策定を受け、今年度からは「健康マイレージ事業」に「禁煙の継続」といった目標を追加しました。今後は「北九州市健康づくり活動表彰」を通じて、事業者の先進的な取り組みについても広く市民に紹介していきたいと考えています。

SDGs、持続可能な開発目標には17項目ありますが、その中の一つの大事な項目は「すべての人に健康と福祉を」であり、また全体の大きなスローガンとして「誰一人取り残さない」ということも謳われております。本市は今、環境先進都市としても、また、SDGsの面でも非常に評価をされて、内外からも注目されています。

その意味で今回の受動喫煙防止対策は、積極的に取り組む課題であると、改めて、今回の法改正を契機として感じております。

市長 答弁 Answer

八幡市民会館は平成28年3月末に市民会館としての機能を廃止し、民間活力の活用を前提として利活用策を検討してきました。「八幡市民会館リボン委員会」から提案を受けましたが、事業性や持続可能性の観点から、提案受け入れには至りませんでした。

その後、市において「資産の有効活用」や「総量抑制」という公共施設マネージメントの視点などを踏まえ、旧八幡市民会館の建物用途変更し、既存施設の機能を移転できないか検討を鋭意重ねてきました。

いくつかの施設を対象に検討する中で、小倉北区にある埋蔵文化財センターが近い将来、老朽化対策として大規模な補修工事が必要になり、費用が約4.6億円見込まれることが判明しました。このことを受け当該センターを移転候補として検討を深めてきました。旧八幡市民会館を埋蔵文化財センターとして活用するために耐震補強なども含め、約17億円程度かかるとの試算結果となりました。

一方で埋蔵文化財センターの大規模補修費が不要になること、跡地売却収入が約4億～9億円と推定され、この収入と固定資産税収入が見込まれること、公共施設の集約化、老朽化対策により、交付税措置もある有利な地方債制度の活用も想定できること、東田地区にある「いのちのたび博物館」と今まで以上の連携が可能になること、という効果が見込まれることなど総合的な判断として埋蔵文化財センター機能を旧八幡市民会館に移転する方針を示したものです。



八幡東区羽衣町



八幡東区豊町

本市における7月豪雨被害を考える



本市を襲った7月5日未明から6日朝までの雨量は1時間に60ミリを超える大変な大雨となりました。この雨は九州のみならず中国四国地方にも甚大な被害をもたらしました。特に記憶に残ったのは倉敷市真備町の浸水被害で近隣の河川の氾濫により多くの尊い命が犠牲となりました。本市においても門司区で2名の方がお亡くなりになりました。改めて衷心よりお悔やみを申し上げます。また今なお避難生活を余儀なくされている方々にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧を願っております。

9月議会で私も、「土砂災害警戒区域の避難に関する考え方」について質問いたしました。この大雨によるがけ崩れは市内300ヶ所近くのうち99ヶ所が八幡東区となり、急傾斜地の多い場所として認識を新たにいたしました。

私の自宅も土砂災害警戒区域にありますが、実際にはテレビから流れる避難情報を不安に思いながら自宅で待機しているだけの状態でした。災害リスク学の先生の話によりますと、逃げ遅れには心理学でいう「正常性バイアス」という変化に過敏には反応せず、異常事態も過小評価して平静を保とうとする心の働きにより「自分は大丈夫」と過信することが一因にあるとのことでした。

避難場所に指定されている多くの市民センターや学校では避難者が多数おられたように感じますが、実際に避難された方は避難対象者のわずか1.7%にしかならなかったとのこと。仮に対象者の方々が大幅に指定避難場所に避難したとすると現状の受け入れ態勢では不安な点が多くあると感じます。

この点を考慮し、避難場所の環境についてと、一時的に市内の旅館やホテルなどと提携し、格安で利用できないかと提案を行いました。妊産婦を含む女性や小さな子どもさんを抱えたお母さんなどには特段のプライバシーの保護に努めなければならないと感じているからです。

加えて、日ごろからの避難のあり方を町内で協議する必要性を感じます。北九州市では災害時にどのように災害等の情報を入手し、どのような避難行動をとっているかを把握するため、「避難行動に関するアンケート調査」を開始しました。

今年の夏の猛暑や大雨は決して珍しいものといえないものとなり、個々の避難計画を事前に立てておくべき時期にきています。

また土砂崩れや、がけ崩れを防ぐには急傾斜地崩壊対策事業を活用した災害のないまちづくりを目指さなくてはなりません。特に個人所有のがけ崩壊や土砂崩壊には配慮すべき点もあります。災害から身を守るため、自助・共助・公助の考え方を今一度整理する、大切な機会にすべきと考えます。

ポテトのひとりごと

こんにちはポテトです!朝晩やっつと過ごし易くなりました。今年の夏は本当に異常な暑さでしたが、ポテトは24時間クーラーの効いた部屋で快適に過ごしていました。だからといって安心してはいけません。涼しくなったこの時期に夏の疲れがドット出てくるのです!我家にもその「夏の疲れ」が…それは父さんではなく母さんでもなくポテト&ミロでもありません。毎日父さんが酷使しているDVDデッキとウォシュレットの調子が悪くて今にもダウンしそうです!特にウォシュレットは父さんのお尻を守ってくれてはならないものなので壊れてしまっは大変です!そしてこの夏、ビールをキンキンに冷やしてくれていた小型冷蔵庫が完全にダウン!!これには父さんもがっかり力が抜けてしまったようです(涙)皆さまも「夏の疲れ」にはくれぐれも注意してお過ごしくださいね。

